

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 10 日

事務事業名		社会教育指導員設置事業		事業区分		担当	
				新規/継続	継続	事務事業No.	020302000627
				単独/補助	単独	所属課	090601
政策体系		政策体系上の位置付け				課長名	生涯学習課
総合計画の施策名		0203 青少年の健全育成				グループ	生涯学習G
政策名		02 生きがいを育む学びのまちづくり				担当者名	
施策名		03 青少年の健全育成					
手段名		02 ②家庭教育の充実					
		財務会計上の位置付け		事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計
	01	10	05	01	02	00	社会教育総務事業
法令根拠	社会教育指導員設置に関する規則					単年度繰返し (年度~)	
	【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)					→ 期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入	

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	社会教育指導員は、教育委員会の委嘱する社会教育の特定分野について、直接指導、学習相談または社会教育関係団体の育成等にあたる。 生涯学習課で開設する各種学級の企画運営にあたる。 (高齢者学級・女性学級・家庭教育学級・わくわくチャレンジ) ※R2年度より分館祭は別担当へ 公民館講座の内容についての助言、指導も考えられる。		・各種学級の運営に関する連絡調整 ・報酬、費用弁償の支払い (毎月15日支払) ・職員手当等の支払い (年2回6月・12月) ・会計年度任用職員採用に関する手続き	

①手段 (担当者の活動内容)							④活動指標 (活動量を表す指標)		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
育成指導が図られた人員数									人	6.00	5.00	5.00	5.00	5.00
定数 8名以内 (現在5名)										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
任期 1年 (再任はできるが、通算年数は原則として3年を超えることができない)										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)							⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
市民							桜川市人口 (常住人口)		人	39,692.00	38,905.00	38,118.00	37,331.00	36,544.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)							⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
各種社会教育団体の育成、社会教育事業の推進、家庭教育の推進が図られる							育成指導が図られた各種学級の参加率		%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移				01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	期間限定 総投入量	
投 入 量	事 業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	5,680	5,803	6,368	0
	事業費計 (A)	千円	5,680	5,803	6,368	0		
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人			

02年度事業費 実績 (千円)			03年度事業費 予算 (千円)		
01 報酬	4,861		01 報酬	5,006	
03 職員手当等	665		03 職員手当等	1,085	
08 旅費	277		08 旅費	277	
合 計			合 計		
5,803			6,368		

事務事業名	社会教育指導員設置事業	事務事業No.	20302000627	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 昭和50年代頃から社会教育指導員設置が始まった。桜川市でも社会教育の振興のため指導員を設置している。 少子高齢化、国際化、情報化が進み、教育を取り巻く環境が急激に変化した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 各種事業の振興のために設置要望がある。特に、家庭教育学級における講話の要望がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 地域の社会教育の充実、生涯学習及び文化活動の振興に結び付いている
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 社会教育指導員を中心に各種学級の企画運営を行い、学級の対象者に学習の機会を与えられるため妥当である
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 市民に対して学習の機会を提供しているが、様々な要望や地域課題に合わせた学習の場を設け、それらに対して助言、指導をお願いしたい
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 地域の社会教育の充実、生涯学習及び文化活動の振興等に影響がある
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がないため統廃合は難しい
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 各種学級の企画立案をしているため、これ以上の削減の余地はない
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 地域の社会教育の充実、生涯学習及び文化活動の振興等に取り組んでいるため公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	高齢者学級、家庭教育学級、わくわくチャレンジ、女性学級、社会教育指導員を中心に企画運営し、地域住民に各種学級の機会を提供できた。 業務を見直し、必要なところに適切な助言、指導が行えるようにしたい。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 今年度まで高齢者学級は真壁地区だけであったが、岩瀬地区・大和地区、桜川市全体で実施する必要がある。 高齢者団体のある地区はその組織の協力を得、ない地区に関しては広報紙等で募集を行う。 既に社会福祉協議会で高齢者の介護予防の取り組みを行っているので、その活動や内容が重複しないように十分検討する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上					維持		○			低下				
成果		コスト																								
		削減	維持	増加																						
向上																										
維持		○																								
低下																										
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ④																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>